

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る効果検証

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
1	地方版総合戦略策定支援事業	基礎交付	7,291,303	指標①					策定完了	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	当初目標としていた平成27年10月末に予定どおり策定に至った。今後、本総合戦略に基づき、本格的な地方創生の推進を図りたい。	予定通り事業終了	本総合戦略に基づき、事業の推進を計りつつ、毎年度、PDCAサイクルを確立することで総合戦略の実効性を担保していくことが必要。
2	職人育成研修事業	基礎交付	2,058,900	指標①	改修・整備を実施する歴史的建造物の公募数	2	件	H28.3	4	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	従来検討してきた伝統工法の継承と歴史的建造物の改修等とを一体的に進める実践型職人育成研修を実施する上で重要な知見が得られた。	追加等更に発展させる	平成27年度までの調査研究を踏まえ、同28年度以降本格的な研修事業を推進する。
3	就職情報提供事業	基礎交付	810,000	指標①	システム利用者の増	25	%	H28.3	15.7	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	求人件数に変化はなかったが、市民に身近なポータルサイトとして認知度が高まり、ページビューカウンターや雇用に関わった件数が伸びた。	事業の継続	H27年度から開発を進めてきたマイページ機能がH28年度に本格稼働すると、マッチング機能が強化される。
4	新規就農者就学支援事業	基礎交付	84,000	指標①	助成金交付者数	3	人	H28.3	1	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	神奈川県立かながわ農業アカデミー在学学生(全1人)に対して学費を補助し、当該学生は平成28年度から市内に就農した。従って、当該事業は地域の農業担い手育成について有効であったと考える。	事業の継続	当該学校は、平成27年度から専攻に「独立就農チャレンジコース」を新設する等、新規就農への支援体制を整備している。そのような機関で専門的に学ぶ学生に対し、市内への就農を推奨する事業を継続する必要がある。
5	地域農業高付加価値化事業	基礎交付	397,688	指標①	オリーブ栽培本数	400	本	H28.3	476	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	新しいブランドの確立、有害鳥獣対策を目的に、オリーブの栽培本数は増加している。オリーブの葉を使った加工品が作られるなど、今後も栽培本数増加と、加工品の研究に努めていただきたい。	事業の継続	現在市内の栽培本数は約1500本のため、産地化に向けた栽培本数増加への取組みは必要であると考えられる。また、栽培本数増加に伴い加工品開発の研究も必要であるため、引き続き進捗させていく。
6	地域産木材活用事業	基礎交付	3,993,320	指標①	いこいの森バンガロー利用者数	800	人	H28.3	825	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	いこいの森バンガローは地域産木材利用拡大のシンボルとして、木に親しむ場として着実に利用者を増やしている。	事業の継続	平成27年度については、公募・選定・作成を市民意見を基に丁寧に行った結果、配布については、平成28年度から実施することとなった。今後とも、様々な施策を官民連携、また異業種交流を通じて、地域産木材利用拡大に努めていきたい。
7	小田原の魚ブランド化事業	基礎交付	1,000,000	指標①	小田原域前魚ブランド商品アンテナショップ年間売上	1,000,000	円	H28.3	908,947	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	実績値は目標値を上回ることにはなかったものの、目標値の9割を達成し相当の効果があった	事業の継続	一定の効果があったことから、事業を継続しながら、達成に向けた検証を行ってまいりたい

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る効果検証

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)					⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
														指標①
8	小田原ブランド推進事業	基礎交付	1,233,410	指標① ブランド化した商品の数	33	件	H28.3	33	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	選定結果を利用したPR等の販促努力を行ったところ、売り上げを伸ばした事業者もあるとの結果を得ている。	事業の継続	一般市民によるアンケートにおいても高い評価を得ているため、引き続き事業を継続する。	
9	都市セールス事業	基礎交付	3,754,000	指標① サイト全アクセス数(月)	10,000	件	H28.3	937,530	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	ターゲットに対し、効果的に情報発信ができた	事業の継続	ターゲットを設定した事業を行うことにより、効果的に情報発信ができると認識している	
10	不育症治療費助成事業	基礎交付	0	指標① 医療助成についての相談件数及び申請件数	4	件	H28.3	0	地方創生に効果がなかった	総合戦略のKPI達成に有効であった	実績が0のものほよくない。0を1にするのは難しいが、事業自体を実施していないと思われてしまう。実績はなかったが、本事業が新規事業として挙げがったことにより、子どもを産み育てる環境としては、相談もあり一定程度の効果があった。	事業内容の見直し(改善)	平成27年度の実績はなかったものの、制度として整えたことで子どもを産み育てやすい環境をつくることに関して、一定程度の効果があったと考えている。今後申請規定を検討しながら事業を継続して実施していきたい。	
11	環境再生活動推進事業	基礎交付	807,558	指標① 事業への参加人数	250	人	H28.3	170	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	地域の自治会や団体や住民による参画が得られ、概ね美しい景観を保つことができ、継続して行っていく道筋が構築されたことから、本事業は有効であった。	追加等更に発展させる	地域の自治会や団体を中心に、美しい景観づくりが保たれたことから、今後もさらに多くの市民にしていいただき、意識高揚を図り、美しい景観を保持したい。	
12	定年帰農者農業支援モデル事業	基礎交付	450,000	指標① 定年帰農者雇用者数	5	名	H28.3	2	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	平成27年度は、他県から参入した企業が市内の定年退職者1人を雇用し、また、市内の農業者が他県在住者を1人雇用し、当該雇用者は生活の拠点を市内に移したことから、当該事業は定年退職者の雇用・移住に有効であったと考える。	事業の継続	事業の継続によって、雇用の受け皿となる農業者を支援し、新たな農業の担い手を増やす。	
13	プロダクティブエイジング推進事業	基礎交付	235,560	指標① 本事業による就労者数	10	人	H28.3	10	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	本事業では、短期の就労を含めてKPIを達成し一定の効果はあった	事業の継続	継続的な就労につながるよう、事業を継続させる必要がある	
14	ケアタウン推進事業	基礎交付	2,500,760	指標① 来訪者数	1,400	人	H28.3	1,106	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	工事期間中は利用者の安全を考慮し、閉館したために目標には届かなかったが、一定の効果があった。	事業の継続	地域福祉の拠点として活用を継続する。	

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る効果検証

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について		
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由	
15	耕作放棄地解消促進事業	基礎交付	748,400	指標①	耕作放棄地解消面積	3,750	m ²	H28.3	17,132	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	指標値に比べ実績値が増加している。耕作放棄地対策は必要であると考えられるため、引き続き継続していただきたい。 一方で、目標に対する達成率は良いが、実際には耕作放棄地はまだたくさんあるはず。もう少し高い目標設定でも良かったのではと思う。	事業の継続	耕作放棄地は農作業の非効率化や病害虫の発生原因となるなど、様々な問題があるため、引き続き耕作放棄地の発生防止と解消のための対策を推進していく。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
16	人間ドック助成金	基礎交付	3,107,258	指標①	助成者数	1,000	人	H28.3	311	地方創生に効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	被保険者(市民)に対して人間ドック助成を行うことにより、健康状態を把握することにより、保健事業につながられた。このことにより、対象者の健康維持・増進に寄与したと考えている。	事業の継続	当初見込んだ1,000件には届かなかったものの、広報等周知に努めることなどにより、助成者の拡大を図り、今後も事業を継続することによって、健康増進の取組を推進していきたい。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										
17	清閑亭の活用による賑わい創出事業	基礎交付	15,500,000	指標①	来場者数	23,000	人	H28.3	29,007	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	運営事業を民間団体に委託し、自由な発想・企画のもと、市内外から多くの方が訪れ、小田原城周辺の交流・回遊拠点として大きな効果が得られた。	追加等更に発展させる	清閑亭周辺の歴史的風致形成建造物等との相互連携により、さらなる回遊性の拡大を目指すため。
				指標②	企画事業数	100	本	H28.3	106					
				指標③	事業参加者数	14,000	人	H28.3	16,785					
				指標④										
				指標⑤										
18	まちの活性化を目指した文化創造担い手育成事業	基礎交付	8,185,422	指標①	アウトリーチ実施数	25	本	H28.3	33	地方創生に相当程度効果があった	総合戦略のKPI達成に有効であった	小学校や市民会館等、地域内の身近な場所で質の高い芸術文化に触れる機会を提供することができ、まちの魅力を高めることができた。	追加等更に発展させる	市民参加の機会を増やし、市民による芸術文化活動の活性化、発展をより促すため。
				指標②	事業参加者数	750	人	H28.3	969					
				指標③	入場者数	3,000	人	H28.3	2,088					
				指標④										
				指標⑤										
19	レンタサイクル利用普及事業	基礎交付	2,114,000	指標①	レンタサイクル年間利用台数	1,900	台	H28.3	2,554	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	1か所で運用していた貸出拠点に加え、新たに市民交流センターUMECOに増設したことにより、利便性の向上が図られ、利用台数の増と回遊性向上に繋がっている。 一方で、実績2,500台に対して211万円なので、一台当たりの費用対効果のようなものが適正かという視点でも考えていく必要がある。	追加等更に発展させる	引き続き、新たな貸出拠点の増設も検討しながら、利便性の向上を図り、回遊性向上を目指す。
				指標②										
				指標③										
				指標④										
				指標⑤										

地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(地方創生先行型)に係る効果検証

No	① 交付対象事業の名称	② 交付金の種類	③ 実績額 単位:円	④ 本事業における重要業績評価指標(KPI)				⑤ 本事業終了後における実績値		⑥ 外部有識者からの評価		⑦ 実績値を踏まえた事業の今後について	
				指標	指標値	単位	目標年月	実績値	事業効果	事業の評価	外部有識者からの意見	今後の方針	今後の方針の理由
20	観光PR事業	基礎交付	1,676,660	指標① 小田原駅観光案内所の外国人観光客利用者数	9,000	人	H28.3	10,049	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	訪日外国人をターゲットに、戦国コンテンツを主にした観光地小田原の周知を図ることができ、人数の増加にも繋がっている。一方で、指標の取り方として難しいのかもしれないが、本来的には、指標として外国人観光客が増えたのかどうか分かる指標を設定することがよいようにも思う。	事業の継続	効果的な情報発信による国内外からの誘客を、事業効果や来訪客の動向等分析しながら事業の継続を行う。
21	都市廊政策推進事業	基礎交付	1,107,000	指標① まちづくりのイメージパス図作成	まちづくりのイメージパス図作成		H30.3	作成未了	地方創生に効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった	商店会及び土地・建物所有者による、まちの魅力を高めるための議論を行う素地づくりができ、本事業終了後も継続的にまちづくりの取り組みが行われることが期待できる。	事業の継続	都市廊政策推進事業の一環であるまちづくりワークショップは平成27年度で終了するものの、都市廊政策推進事業自体は継続し、中心市街地の活性化に向けた取り組みを行う。
22	中心市街地に配置する新図書館機能等検討	基礎交付	3,434,400	指標① 成果物	成果物の完成		H28.3	成果物の完成	地方創生に相当程度効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった	中心市街地に配置する新たな図書館の機能等について、要求水準書を作成することができた。	予定通り事業終了	今後は、本事業により作成した要求水準書に基づき、施設の具体的な検討を進めていく。
23	小田原地下街における公共・公益的機能運営事業	タイプ I	17,740,740	指標① 「街かど案内所」における案内件数	10,000	件	H28.3	7,950	地方創生に相当程度効果があつた	総合戦略のKPI達成に有効であった	KPI達成に直接効果を及ぼすものではないが、魅力を発信して人の流れを作るといった基本目標には一定程度寄与している。	事業の継続	一定の効果があつたほか、魅力を発信して人の流れを作るといったこと自体は引き続き必要であるため。
24	忍者・武将おもてなし事業	タイプ II	9,259,260	指標① 小田原城址における甲冑着付け体験利用者数	21,983	人	H28.3	24,761	地方創生に非常に効果的であった	総合戦略のKPI達成に有効であった	小田原城天守閣の耐震改修工事による休館に伴い、観光客数の大幅な減少が見込まれていたが、おもてなし隊等による新たな魅力の創出が図られたことにより、甲冑着付け体験の利用者数も増加するなど、大きな誘客効果が生まれた。	事業の継続	城址公園来訪客のおもてなし隊に対する評価は高く、城址公園の魅力向上に繋がる事業となっており、引き続き事業の継続を行う。